

国際ロータリー 第2640地区

Vd.8
2024年

2



2023-2024年度 RIテーマ
世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「思いやりあふれる！明るく！元気なロータリーへ！」

2月は平和構築と紛争予防月間

2月23日は、ロータリー創立記念日
世界理解と平和の日



2023-2024年度
ガバナー 谷 宗光

写真提供：仁徳天皇 百舌鳥耳原中陵(宮内庁撮影許可) 中野 均(堺東RC)

Rotary
第2640地区



国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/tani>

目次

RI会長 メッセージ 1
 ガバナー メッセージ 2
 平和の推進 3
 2024-25年度会長テーマを発表 4
 ローター国際協議会に参加して 5
 ポリオワクチン投与プロジェクトに参加して 6
【RIニュース】
 国連環境計画とのパートナーシップ 7
 トルコにロータリー平和センターが新設 8
【地区活動報告】
 インターアクトクラブ国内研修 9
 閑空にエンド・ポリオのポスター掲示 10
 能登半島地震に対する支援 11
 日前宮に初詣 被災地支援等を祈願 12
 ローター米山記念奨学生選考会 13

【クラブ活動報告】

ネパール支援を振り返って 橋本RC 14
 RC杯 ジュニアバドミントン大会 新宮RC 15
 子供食堂で餅つき大会 有田2000RC 16
 地域の「フードバンク」を支援 海南東RC 17
 御坊市新庁舎にベンチ、時計を寄贈 御坊3RC 18
 堺7RC 新春合同例会・互礼会 堺7RC 19
 第4分区 会長、幹事会を開催 20
 新会員の紹介 / 訃報 21
 ハイライトよねやま Vol.286 22-23
 コーディネーターニュース 2月号 24-25
 会員数報告(2023年12月) 26
 My Rotary 登録状況(2024年1月) 27
 2月の行事予定 28



シンガポールで希望をわかち合おう

Rotary 

2024年ロータリー国際大会

2024年5月25日～29日
シンガポール

多様性・公平さ・インクルージョン

ロータリーのコミットメント

私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界のビジョン実現に向けて取り組みます。



ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ローターやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ローターの会合、行事、及び活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起らないよう確認する。

(2019年1月理事会会合、決定119号)

PRESIDENT'S MESSAGE

2023-24年度 国際ロータリー (R I) 会長
ゴードン R. マッキナリー

R I 会長メッセージ
 指定記事

「好循環」を生み出す

私は、世界中の皆さんがロータリーを通じてメンタルヘルスのための活動に取り組んでいることに、励まされています。ロータリー行動グループの一つ、メンタルヘルス・イニシアチブが実施したアンケート調査に 1,000 人以上の会員が回答。会員個人の幸福度を上げるため、ロータリーは何ができるか、意見を提示しています。

回答から浮き彫りになったのは、ロータリーの会員がより多くの親睦や連帯、対話、結束、つながりを求めていることです。同時に認められ、受け入れられ、仲間になりたいと感じています。さらに、より多くの奉仕の機会や、メンタルヘルスに関する講演や啓発、教育といったウェルネスのための活動の機会を求めています。

ロータリー会員は、メンタルヘルスへの着目の評価するだけでなく、それによってロータリーでの体験、自身の生活も向上すると考えています。興味深いのは、所属クラブに対して何か劇的に新しいことを求めているのではなく、身近なところで取り組めることをしたい、と感じていることです。例えば月に 1 回、例会で座る席を替え、それまで話したことのない会員と話す、というシンプルな試みによって、会員同士のつながりをさらに深める、といったことです。

活動に成果をもたらし、ロータリーへの入会を考えている人たちを引きつける方法を紹介しましょう。まず、クラブへの帰属意識を高めることの重要性を認識し、会員が新たに有意義なつながりを見つけるための機会をつくりましょう。公衆衛生の専門家は、孤独感の深まりを懸念しており、アメリカに至っては、公衆衛生局長官が「それは伝染病だ」と言明しています。共通の趣味や関心を土台とするグループやクラブを見つけることは、より強いつながりを築く有益な方法である、というのがメンタルヘルスの専門家の見解です。この見方はまさにロータリーにも当て



はまります。ロータリーの会員が皆、地域社会へ積極的に参加すれば、私たちロータリーが持つこの強みを、地域社会は認識するということです。

そして、つながりを築く新たな方法を見つけた方はそのストーリーを

mindhealth@rotary.org までお送りください。あなたのアイデアが、他の会員にインスピレーションを与えるかもしれません。また、ロータリーショーケースに奉仕プロジェクトを投稿しましょう。

最後に、今回のようなアンケート調査の結果をクラブでシェアし、クラブでの体験を向上させ、会員の期待を満たすような独自のアイデアを考えていただきたいと思います。私たちが始めた旅は、メンタルヘルス以上の目的を持っています。ロータリーという素晴らしい組織の強みを最大限に生かすこと、そして自分は個人の幸福を心から大切にするコミュニティーの一員であると、全ての会員に感じてもらえるよう支援していくことです。

皆さんが行う全てのことが、ロータリーでのつながりを強めます。このつながりとは、お互いのつながり、奉仕する相手とのつながりであり、これがメンタルヘルスの向上につながります。メンタルヘルスの向上のために行う全てのことが、こういったつながりを強めていくのです。この「好循環」を維持していきましょう。

ガバナー メッセージ

2月は「平和構築と紛争予防月間」です。

能登半島地震で被災された皆様に 心からお見舞い申し上げます。



2023-2024年度ガバナー 谷 宗光

本号は、まず、1月1日16時10分に発生した能登半島地震でご逝去されました方々にお悔やみ申し上げます。そして、被災されました方々が一刻も早く元の暮らしが取り戻されますことを願ってやみません。

当地区は、1月3日には、社会奉仕委員会と連携をとり、緊急支援チームを立ち上げてくれ、各クラブさまのご協力で、沢山の物資の確保ができております。そして、現地2610地区の原ガバナーやガバナー事務所様とも連絡を取り合い、何時でも赴ける準備はできております事をお伝えしております。

皆様のロータリアンとしての心意気と行動力に感謝申し上げます。

私たち阪神間に、近い者にとっては、1995年1月17日5時46分に発生した、阪神淡路大震災を目の当たりにしました。(南大阪も強い揺れを経験し、関西国際空港も液状化現象が起こり地盤沈下が進んだと言われている)

あれから29年、その間には東日本大震災、熊本地震など、自然災害は、幾度となく発生しているのですが、皆様はご自宅、事業所、所属先等々で、被災した時の備えはされていますか？ 恥ずかしながら私は、まったくと言っていい程、できていないというのが現状です。

人は、「喉元過ぎれば熱さを忘れる！」ものです。今を機会に、いざという時のために、備えをしようではありませんか！

今年度、当地区内の事業で、堺おおいずみRCさんが、広川町で主催されました、安政南海地震の時に起こった大津波の勉強会(稲むらの火)。

年の瀬にインターアクトクラブ委員会さんが開催してくれました国内研修。こちらも、大分、熊本阿蘇で50名を超える中高生と共に被災地の見学と現実に被災されたお母さん方に、当時の状況についてと、備えるべきものについても学んだばかりでした。

これは、何を示唆しているのか？ 単なる偶然と考えるべきではないとおもいます。近いうちに必ず起こると言われている南海地震！ 明日は我が身です。



平和の推進

今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子どもです。

このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

平和な環境をつくるロータリー

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

ロータリーは、新たな課題に 대응するために平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーのビジョン声明をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人々が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念に基づくアプローチを取っています。

ロータリーは、平和が可能となる環境を築いています。

平和の推進におけるロータリーの4つの役割

ロータリーとロータリー会員が担う役割

- 実践者: 疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。
- 教育者: ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる1,700人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。
- 調停者: ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。
- 提唱者: ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。



国際ロータリー会長エレクトが 2024-25年度会長テーマ を発表

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「**ロータリーのマジック**」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

マクマーリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

少年の一人が『もう一度魔法を見せて』と言いました。もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送、設置し、現地リーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。少年たちは、安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを知っていました。私が少しでもその力になったと知ったことで、私の人生も変わりました。

平和を優先する

ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があり、世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバーチェシヒル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平

和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」「この会議は、平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

さらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。「地元でポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力です。「ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれませんが。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることとあります。「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

ロータリー国際協議会に参加して

地区ガバナーエレクト 野村 壮吾

2024年1月7日～11日、米国オーランドのローゼン・シングル・ウィークホテルにて開催されました。この研修は、GEが就任に向けて準備を整え、次年度のRIの優先事項について学ぶための協議会です。世界中のGEと共に学び、ネットワークを築く機会となりました。ここに、この素晴らしい感動と機会を与えて下さった事に、心より感謝いたします。以下少し感想を述べさせていただきます。



1月2日の羽田で事故が発生し、6日に羽田を出る行程だったので少しスケジュールが変更になるかもしれないと思いましたが、万事予定通りこなすことができました。7日は歓迎レセプションのみで、本会議は8日朝より始まります。8日の朝、少し早く本会議場に行くと、そこはとても賑やかで、音楽に合わせて体を揺らす世界から集まったGEと会議をお世話するスタッフで一杯でした。9時になりステファニーRI会長エレクトが登場し、少しのスピーチの後、次年度テーマの発表となりました。次年度テーマは、「The Magic of Rotary」和訳は、「ロータリーのマジック」です。



マジックというと何か胡散臭い感じがします、魔法の杖を使って小手先で世界を変える、、、みたいな。RI会長エレクトは、これを否定しました。人々に感動、また継続的な変化を与える大きなインパクトのことという意味で使われていました。これについては、MyRotaryに[講演のビデオ](#)が掲載されていますので、皆さんぜひご覧ください。

国際協議会の形式は、この本会議の後、GEが数名ずつ集まり本会議の内容に沿って懇談するという形式で7回、本会議→セッションという形で11日まで行われました。セッションには日本人だけでなく、他の国籍の方も交じり行われました。夕食時には、日本以外のGEと接する機会もあり、ロータリークラブが世界的な活動であることを感じる事が出来ました。最初は長いと思われた協議会でしたが、振り返るとあっという間の出来事です。



ホテルに缶詰めの5日間で、車窓から眺めたディズニーランド、ホテル横のゴルフ場、フロリダの青い空を目に焼き付けて帰国の途につきました。この経験を、7月からの地区運営に活かしてまいりたいと思います。皆さん、どうぞご支援をよろしくお願い申し上げます。



パキスタン ポリオワクチン投与プロジェクトに参加して



2024-2027年度 第3地域ポリオ根絶コーディネーター
地区パストガバナー 藤井 秀香



1月13日から17日まで、パキスタン・カラチにて、松本裕二PDG (益田西RC) 団長の元、「パキスタンポリオワクチン投与プロジェクト」に参加いたしました。



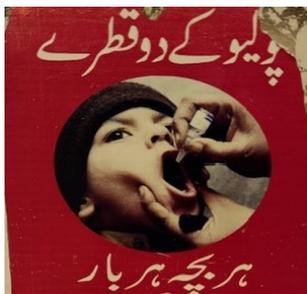
本来は私のガバナー年度に参加させていただく予定でしたが、コロナ感染拡大の影響で実行できませんでした。

自クラブの奉仕活動では、フィリピンでも活動しましたが、パキスタンは、もっともって、貧しくて、悲しくて、ポリオ根絶より、生活環境を整えてあげないと根絶は無理だと思いました。



それでも子供達は、目がキラキラして、明るいのに、救われました。神様は、この子達は生まれ変わったら、必ず満たされた生活の出来る家族の下へ送ってくださると信じております。

プロジェクトでは、高速道路で軍がバスを止めて、私達が乗り込み5歳未満の子供を見つけて小指のマーカ―をチェックして、未だの子供にはワクチンの投与を致しました。

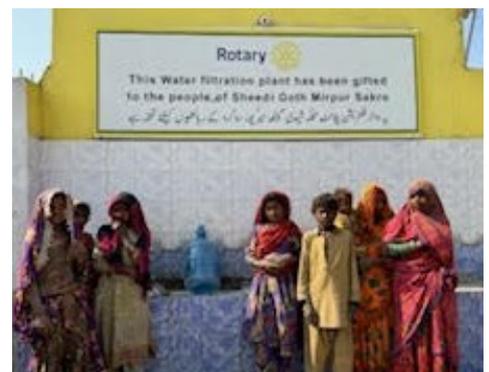


また、同じように、駅や電車の中、そして一軒ずつ御宅訪問をして、子供をチェックします。私は女性なので中まで入ることができました。

しました。

昨年の暮れにカラチでワクチンを拒否していた家族で3人発症した為、国が一斉投与をされましたが、やはり漏れがありますので地道な活動が必要です。国が力を入れておられるのを知り、安堵

しました。アフガニスタンの6名も気になりますが、日本チームは入っていきません。あと少し。子供達と約束したのですから、成し遂げなくてはなりません。



【RIニュース】



ロータリーと国連環境計画のパートナーシップ

ロータリーはこの度、世界中の地域社会で河川を保護・保全するために国連環境計画 (UN Environment Program = UNEP) とパートナーシップを結びました。

このパートナーシップでは、草の根レベルでボランティアを動員できるロータリー会員の力とUNEPの専門的ガイダンスを組み合わせ、「淡水保全のためのコミュニティアクション」(Community Action for Fresh Water) プログラムを通じて世界各地で環境への持続可能な長期的インパクトをもたらすことを目指します。

日本にも多くの川や湖があり、地元の生態系を守ることはとても大切です。

自然生態系を守り、持続させるためのカギは、生態系の近隣にあるコミュニティに関与を促し、啓発し、モチベーションを与えることです。このため、「淡水保全のためのコミュニティアクション」イニシアチブでは、地域社会を基盤とするロータリークラブとローターアクトクラブが重要な担い手となります。

「淡水保全のためのコミュニティアクション」(Community Action for Fresh Water) は、ロータリーと国連環境計画 (UNEP) のパートナーシップにおける代表的なイニシアチブです。このイニシアチブでは、「環境」の重点分野と一致する淡水の生態系の保全・回復のために、ロータリーとローターアクトの会員が地域社会と協力します。ロータリーと国連のこの戦略的パートナーシップは、2023年に発足しました。

このコミュニティアクションは、UNEPとロータリー第9212地区 (エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン) が2020年に開始し、世界各地に広がった「Adopt a River for Sustainable Development」(持続可能な開発のための河川支援) 試験的プログラムにおける淡水生態系の保全と回復の成功を土台とし、そこで学んだ事を活かし、さらに拡大するものです。

このパートナーシップは、ロータリーとUNEPの専門知識を結びつけることで、さらに持続可能で長期的な環境へのインパクトを与えることを目指します。UNEPは、国連システムにおける環境分野の主要機関であり、生物多様性を含め、世界の自然と天然資源の保全・改善・支援に取り組んでいます。

会員が「淡水保全のためのコミュニティアクション」に参加する方法

ロータリークラブが、単一または合同で、地元の河川、湖、入り江、天然貯水池、湿地帯の保全と回復に取り組むことを決定します。その後、地元の他団体や住民と協力して、地元の水域が直面する主な脅威を特定し、関連する地元団体と連携して活動計画を立てます。

手始めに、河川清掃デーや地域社会の啓発キャンペーンを実施するのもよいでしょう。その後も、クラブが継続的に回復・管理の活動を行い、さらに一歩進んだ活動を行うこともできます。

ロータリーは、「淡水保全のためのコミュニティアクション」の中心的存在となって、非政府団体、民間企業、自治体や政府機関と密に協力して地元の淡水生態系を改善し、好ましいインパクトを生み出すことができます。

国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた活動

このパートナーシップは、国連の持続可能な開発目標 (SDGs)、特に、水・衛生 (目標6)、気候変動 (目標13)、陸上資源 (目標15) に関する目標を達成することを目指しています。

クラブが既に淡水資源の保護に取り組んでいる場合、または淡水の回復と保全に取り組む計画が整った場合には、[登録フォーム](#)からプロジェクトの詳細と連絡先をお知らせください。

ロータリーの重点分野



【RIニュース】



イスタンブールのバーチェシエヒル大学 (Bahçeşehir University) に新たなロータリー平和センターが開設されます。

イスタンブールにあるバーチェシエヒル大学 (Bahçeşehir University) にロータリー平和センターが新設されることに伴い、来月、平和フェロー候補者の募集を開始します。この新しいセンター (オットー・アンド・フラン・ウォルター・ロータリー平和センター) では、中東と北アフリカを拠点とする経験豊かな平和構築者に1年間の専門能力開発修了証プログラムが提供され、平和と開発分野の準修士号を取得することができます。

「同センターは、中東と北アフリカの平和構築者を対象に、この地域の平和を推進するために必要なリソースと経験を提供します」と、ロータリー財団管理委員であり、オットー・アンド・フラン・ウォルター財団の会長であるマーサ・ピーク・ヘルマンさんは話します。ウォルター財団は、同センターの運営資金と年間40名までの学生へのフェローシップを永続的に提供するため、1,550万米ドルを寄付しました。

この最新のロータリー平和センターのカリキュラムでは、土地を巡る紛争、気候変動、食糧不安、難民の統合、経済と地域社会の発展など、中東と北アフリカで特に関連性の高い問題を取り上げます。また、フェローは、同大学にある国連の国際研修センター (CIFAL Istanbul) を通じて、国連訓練調査研究所 (UNITAR) が提供するセミナーやワークショップにも参加します。その後は9カ月間、同地域で社会変革プロジェクトを実施し、その成果を修了前セミナーで発表します。

「UNITARとのパートナーシップと、国連の持続可能な開発目標に焦点を当てている同大学は、ロータリーの使命に沿った高度な研修をフェローに提供します」と、ロータリー平和センター・マネジャーのローラ・デッシャーさんは話します。「平和フェローは、紛争の原因となる問題に取り組む

ために、革新的な政策やアドボカシーの方法を学び、学んだことを各地の状況に適應させることができます」

バーチェシエヒル大学 (通称BAU) は、世界的に存在感を示す私立大学です。トルコ有数の高等教育機関で、125カ国以上から約3万人の学生が学んでいます。平和センターは、イスタンブール郊外に最近建設された同大学のフューチャー・キャンパスに設置されます。平和フェローは、プログラムの10週間の期間中、同キャンパスに滞在し、広々とした図書館、自習室、医療施設、フィットネス施設、その他のサービスを利用できます。



「フェローは、さまざまな難民コミュニティについて学び、持続可能な開発の実践に参加し、被災地を訪問し、非政府組織と交流し、この地域の多様な文化を反映したイベントに参加できます」とアルバイラクールさん。「バチェシエヒル大学は、トルコに浸透している多文化主義とホスピタリティ精神を象徴しています。この大学は、中東と北アフリカの縮図として際立っており、この地域とその周辺から多くの学生を受け入れています」

BAUを含むすべての平和センターで、2月1日から5月15日まで [ロータリー平和フェローシップの申請](#) を受け付けます。フェローは11月に選考され、2025年初旬に留学を開始する予定です。

フェローシップには、授業料、宿泊費、食費、大学までの往復交通費、インターンシップや実地研修の費用が含まれます。

【地区活動報告】

インターアクトクラブ国内研修



地区インターアクト委員長 坂東 剛

12月26日～28日、大分県・熊本県へ研修に行ってきました。インターアクター56名・顧問9名・ロータリアン7名の計72名が参加しました。

大分では、第2720地区の皆様が交流プログラムを企画して下さいっており、アクターはもちろんの事、ロータリアンも懇親を深める事ができました。第2720地区の膳所ガバナー、当地区谷ガバナーの挨拶で開会し、両地区インターアクトクラブ活動報告・グループ討論等を行いました。その後の昼食は総勢96名での素晴らしい親睦会となりました。



熊本では、阿蘇に於いて平成28年熊本地震の震災遺構を見学し、当時を知る地元の皆様と交流する機会を頂きました。話に聞き入るアクターの姿はとても素晴らしく、我々を満足させてくれました。また、道中の景観にも癒され、大自然の神秘に驚かされる有意義な3日間でした。



【地区活動報告】

関空にエンド・ポリオのポスター掲示

地区ロータリー財団委員長 中野 均

1月19日(金)、ロータリーが取り組み続ける奉仕事業である「ポリオ撲滅」まで「あとチョット」を表現するエンド・ポリオのポスターを第1ターミナル2階風除室(駅に繋がる)、4階風除室(国際線出発口に繋がる)及び第2ターミナル国際線出発口に掲示しました。

これは、10月24日の世界ポリオデー関連事業として、関西エアポート(株)様のご理解ご支援を得て11月11日、12日に地区大会会場および関西空港駅コンコースにて、関西国際空港ロータリークラブが実施した「ポリオ募金活動」(初芝立命館高校インターアクト及び地区財団委員会が協力)に続く活動で、関西国際空港の多くの利用者にポリオ根絶をアピールするためです。



関西国際空港は、国内有数の国際線・国内線ネットワークを提供する完全24時間運用可能な国際拠点空港。関西、日本における西のゲートウェイとして、航空旅客数は年間約30百万人にのぼります。

当日は 朝10:00から、谷ガバナー、中野委員長(PDG)を筆頭に関西国際空港RCの宮内会長、筒井幹事らの協力によって、ポスター掲示。また、地区公共イメージ委員長、委員の取材(写真撮影)があり、地区のFacebookページにアップしていただいています。



ポスターは、関西国際空港の第1ターミナル 2階 B 出入口・3階 G 出入口、第2ターミナル 国際線出入口に掲示されています。なお、掲示期間は、管理会社のご厚意により6月末日までとなっています。



【地区活動報告】

能登半島地震に対する支援について

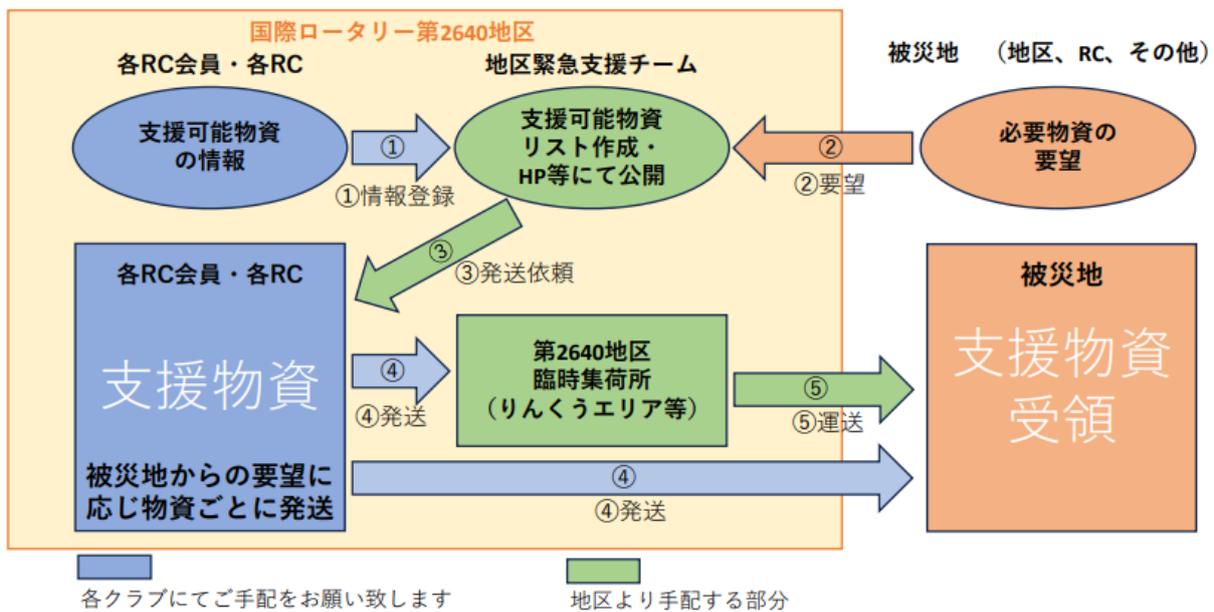
令和6年元旦に発生した能登半島地震災害に支援について、地区は、支援金及び支援物資を各クラブにお願いしています。

支援金については、1月末までで、皆様からお寄せいただいた支援金は、ガバナー事務所で取り纏め、第2610地区へお届けさせていただきます。

支援物資については、本地区では1月2日に緊急支援チームを発足し地区内各クラブに支援可能物資の情報の提供を呼び掛けています。

お寄せいただいた支援可能物資は、被災地の求めがあれば、臨時の集荷所(りんくうエリア)に集約し、すぐに届けられるよう準備しています。各クラブからは、続々と支援可能物資の情報が寄せられ、都度、支援可能物資リストのデータ更新を行っております。

緊急支援物資提供のフロー



- 被災地側の求めがあればご連絡を差し上げます。その際にはご提供頂きますようお願い申し上げます。
- 物資は各クラブ様もしくは所有会員様にて保管頂きますようお願いいたします。
- 他のルートでご使用になられる場合もそちらを優先頂いて結構です。(その際には地区の登録リストから削除する為、ご連絡をお願い致します)

※地区ガバナー事務所は支援物資の集荷所とはしておりませんので支援物資は決して送らないようお願い申し上げます。

【お願い】
物資をわざわざ購入しての登録はお控え頂き支援金は支援金としてご活用頂きますようお願い申し上げます。



【地区活動報告】

日前宮に初詣「被災地支援」と「地区の発展」を祈願！

ガバナー補佐・幹事合同会議

2024年1月13日(土)、谷ガバナーをはじめとする地区役員は、年始最初のガバナー補佐・幹事合同会議の終了後、和歌山市の日前宮に初詣。能登大地震の救援と地区の安寧と発展を祈願しました。

ガバナー補佐・幹事合同会議では、元日から被災地周辺の地区ガバナーと連絡を取り合っ得た被災地の現実と、こちらの気持ちを擦り合わせ、支援について協議。谷ガバナー年度の残り半年を引き続き、皆が力を合わせ頑張っていくことを誓いました。

初詣した日前宮は、和歌山RCの紀 俊崇 幹事が宮司を務め、日本書紀にもその名を刻み、バチカンよりも歴史が古く、数多の神話を持つ、和歌山市民のパワースポット。参拝した地区役員の皆さんは、年始に当たり、気持ちを新たに祈願しました。



令和6年能登半島地震
被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

【地区活動報告】

ロータリー米山記念奨学生選考会の実施報告



地区米山選考小委員会 委員 西村 元秀

地区ロータリー米山記念奨学委員会は、2024年1月14日(日)りんくう国際物流センターに於きまして、2024~25年度ロータリー米山奨学生の選考会を開催いたしました。

今回は、谷 宗光ガバナー、樫畑 直尚 米山奨学会理事、野村 壮吾ガバナーエレクト、新本 憲一 地区米山記念奨学委員会委員長には書類審査並びに面接官として審査をお願いしました。

選考会当時は、加えて地区裁量の選考基準としてグループディスカッションを行い、久保 忠生 地区代表幹事、木村 勝次 地区米山寄付増進小委員長、納谷 政志 地区米山学友小委員長、玉井 洋司 米山選考小委員会委員、松山 雅昭 米山選考小委員会委員の5名に審査員として、審査をお願い致しました。

これにより今年度継続奨学生の5名に加えて16名の新規奨学生を選考しました事をご報告させていただきます。

これからも、34地区共通の選考基準とルールを遵守し公平で透明性のある奨学生選考を行っていきたいと考えております。



日本のロータリーは
海外からの留学生を支援しています。

Study in Japan!

海外応募者対象
ロータリー米山記念奨学金

Rotary Yoneyama Scholarship for Overseas Candidate

【クラブ活動報告】

ネパール支援14年を振り返って

橋本ロータリークラブ

国際奉仕委員長 喜多 啓允

コロナ禍で行けなかったネパールに昨年、11月6日から14日まで、4年振りに訪問しました。今回の目的は昨年度サニアマライ村を中心に76軒に支援したバイオガストイレ設置の状況を見学。また5～6年前から要望されていたジャナウジヨル小学校の3教室増設の現地調査を行いました。



2010年から始めた学校建設支援は、パシュパティ小学校、バランディ小学校、シリジャナ初等中学校、プラバット高等中学校、ジャナディープ高等中学校、パシュパティ小学校2階増設、そして今回支援するジャナウジヨル小学校で7校となり、バイオガストイレは159軒になりました。

バイオガストイレ装置は人や家畜の排泄物を地下タンクに貯め、メタンガスを発酵させ調理用ガスとして利用します。これにより女性や子供達が薪取りの重労働から解放され、上澄み液は野菜づくりに有用な液肥となり喜ばれ、さらにご婦人方にとってありがたいことは不意の客人に対してもすぐに軽食やお茶の接待が出来ると喜んでいました。また薪の燃焼ガスがそのまま家に充満し呼吸器疾患を引き起こす原因となり幼児の死亡率が高く問題視されており、同時に薪の使用が従来の半分以下になることで森林破壊も軽



減されることでネパール政府も補助金を出し推奨しています。

学校建設支援は識字率向上の為に取り組んでいますが、最近私たちクラブが支援しているパルバ地方の生徒が減少しています。原因は外国への出稼ぎで農業より稼ぎが多い為都会に引越す人が増え耕作放棄地も増えています。残念な現象ですが基幹産業の乏しいネパールでは、働き盛りの5人に1人が外国への出稼ぎで生計を立てているのが現状です。しかしながら老朽化した教室や足りない教室はまだあるので建設支援は必要です。



橋本RCがネパールに支援を始めて14年になりますがインフラは訪問するたび発展していつも利用するカトマンズのトリブヴァン国際空港は改修され滑走路も拡張工事が進んで近代化されてきました。またポカラ国際空港は別の場所にバイラフ国際空港は現空港の隣に空港ビルが建ち近代的な空港に何れも中国資本で建設されましたが、名ばかりの国際空港で国際便は1便も運航されていません採算面で将来性が心配されます。

また、2015年ネパール地震で甚大な被害を受けましたが殆んど復興され、地震以前見なかった重機(ブルドーザー、コンボ等)が世界中から送られ田舎でも見かけます。そのため道づくり等、効率は良くなりましたが田舎では人手を必要とする現金収入が減り今までのようなのどかな環境から現金収入を求め変わりつつあるかも知れません。当初から識字率向上で取り組んできた支援ですが、村民のニーズまたネパールの社会環境の変化から求められる支援も多様化しております、よく考え実りのある支援になればと考えています。

【クラブ活動報告】

ロータリークラブ杯 ジュニアバドミントン大会

新宮ロータリークラブ

12月17日(日)、新宮市佐野にある新翔高校体育館にて、新宮ロータリークラブ杯ジュニアバドミントン大会(新宮バドミントン少年団主催、紀南バドミントン協会主管、新宮ロータリークラブ後援)が開催されました。1990年に第1回目が始まり、今年で33回を数えます。

当日は地元をはじめ、遠方では和歌山県は上富田町から、三重県は伊勢市から(それぞれ新宮まで1時間半、2時間程度かかります)総勢約150人が参加し、各部門で熱戦が繰り広げられました。

少年団の方にお話を伺いますと、地元では少子化の影響で部員数も減少しているようです。ちなみに当クラブでは他に小学生のチームを対象とした学童軟式野球大会のサポートもしておりますが、その子たちが地元の中学校に進学しても部員数減少で単独チームが組めず、他の中学校との合同チームになるそうです。

地元では部員数減少という問題があるものの、それでも各地から100名以上が参加してくれていますし、中には車で2時間かけて新宮の大会に参加してくれるチームもあります。

これからも青少年奉仕活動の一環として、日頃の練習の成果を存分に発揮できる機会であるこの大会を続けていきたいと思っております。



挨拶する 上松 RC会長



【クラブ活動報告】

地域の子供食堂で餅つき大会

有田2000ロータリークラブ

有田2000ロータリークラブの社会奉仕委員会は、令和6年1月17日(水)17時から、有田川町田殿公民館で、一般社団法人 smileスミレ会との交流例会を開催。子ども食堂「カラフル食堂」の子どもたちに「もちつき大会」を企画して振る舞いました。

蒸しあがったモチ米を子供達が餅つきできるところまでお手伝い。



「よいしょ！よいしょ！」の掛け声の中、重い杵で「ぺえったん、ぺったん」普段できない経験を子供達が出来て、目をキラキラさせていました。

9升のモチ米でたくさんのお餅を食べて、子供たちは大満足。笑顔がこぼれていました。



一般社団法人Smileスミレ会は、放課後等デイサービスを行っています。障害のある就学児童(小学生・中学生・高校生)が学校の授業終了後や長期休暇中に通うことのできる施設で、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など、地域の子供たちを支援しています。

<https://colorfulbeans.online/>

【クラブ活動報告】

地域の「フードバンク」を支援

海南東ロータリークラブ

海南東ロータリークラブ(会長 岸 友子)は、1月22日、例会において、海南市にある社会福祉法人 さくら福祉会のハートリンク さくらが令和5年9月に 立ち上げた「フードバンク事業」に支援の品物を集め、寄贈しました。



さくらのフードバンク事業は、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の寄付を受け、食べ物に困っている方や、こども食堂、緊急的に食品が必要な方などへ無償で食品の提供を行っています。



当日、卓話いただいた さくら福祉会の岩橋 美和 様からは「先進国と呼ばれる日本ですが、そんな日本でも所得格差は徐々に広がっています。我々は、まず、低所得世帯やゆとりのない世帯を中心に、主に子供と親の支援をしたいと考えました。ひとり親世帯等の生活を支える為のフードバンクを通じた食料支援や、できれば学習支援を行って行きたいと計画しています。まだ食べられるのに

捨てられてしまう食品の寄付を受け、食べ物に困っている方や、緊急的に食品が必要な方などへ無償で食品の提供をいたします。ぜひ皆様には、フードバンクへの食品のご寄付をお願いいたします」話されました。

クラブの社会奉仕委員会では、以前から、地域の3つのこども食堂の支援活動に加え今回の「フードバンク事業」の支援も含め、各種のボランティア団体と協力して、地域に役立つ活動を広げていきます。

「もったいない」を「ありがとう」に
社会福祉法人さくら福祉会の

FOOD BANK
フード バンク
社会福祉法人さくら福祉会
ハートリンクさくら
海南市北赤坂2-1
☎073-484-5000
✉shien@sakuraclinic.org



フードバンクとは・・・
品質に問題がないのに、賞味期限が近い、包装が破損しているなどの理由で店舗に並べられない食品や、家庭で食べきれない食品など提供してもらい、生活困窮家庭やその支援団体など、必要としている人たちに届ける橋渡しをするのが「フードバンク」です。



フードドライブ

地元の農家 民間企業

経済的自立に取り組む ひとり親家庭の方

【クラブ活動報告】

御坊市新庁舎にベンチ、時計を寄贈

御坊3クラブ(御坊RC、御坊南RC、御坊東RC)

御坊3クラブ(御坊RC、御坊南RC、御坊東RC)は、御坊市役所の新庁舎建築工事の最中、2023年1月16日(月)に、竣工に際し、合同で寄贈を行うことを決議しました。

4月24日(月)、御坊市社会福祉協議会会長の岡本恒男氏(御坊RC)に仲介役を依頼するとともに寄贈品の選定作業に着手。

5月25日(木)には御坊市役所担当課職員との協議の場を設け、設置場所の図面を確認しつつ、以後も検討を重ね、最終的に待合ベンチ8脚と壁掛け時計2台を寄贈することとなりました。

11月17日(金)、新庁舎にて贈呈式が挙行され、全国紙、地方紙でも紹介されました。三浦源吾 御坊市長に3クラブ会長(御坊:小竹伸和氏、御坊南:丸山晋右、御坊東:小池佳史氏)より目録を贈呈。小竹会長が代表して「ロータリークラブは地域にどっかり腰を下ろして活動しており、これを機に市長を先頭に新たな時を刻みたい」と挨拶しました。

三浦市長は「新庁舎は皆様方のお力添えで無事に竣工した。今回の寄贈とともに、日頃の奉仕活動に改めて感謝したい」と述べてくださいました。

ベンチは新庁舎2階の市民課や健康福祉課など、時計は2階市民協働エリアと5階展望デッキに設置されています。



文責:丸山 晋右(御坊南RC)

【クラブ活動報告】

堺7ロータリークラブ 新春合同例会・互礼会

堺7ロータリークラブ2024年新春合同例会・互礼会が、堺清陵ロータリクラブの吉川会長、ならびに、鈴木ソングリーダーのもと、元気に行われました。

今年の例会は、能登半島・翌日の羽田空港での航空機事故を受け、新年おめでとう、乾杯の言葉は禁句となりました。



冒頭、地区ガバナー谷 宗光様から「1月1日の能登半島地震が起きた直後、まだ、被害状況が分かっていない状況で、瞬時に、ロータリーの仲間に連絡を取って、物資を集め、金沢のロータリアンと連携を取り、行動を起こし、今なお、支援活動を行っている。東北地震の教訓を活かし、ロータリーとして行動を取っている」とあいさつがありました。

次にゲストスピーカーで元阪神タイガース岩田稔様からは、高校生の時に、一型糖尿病と言う事が分かって、それ以来、目標や逆境に負けず、不屈の闘志のお話がありました。岩田様は、一型糖尿病を克服して、野球界で輝いた事で有名な選手です。同じ病気で苦しんでいる子供達に勇気を与える、とても、素晴らしい生き方をされています。

続いて、堺清陵ロータリクラブ吉川会長からは、4年近く続いた、コロナ感染症が、2類から5類に変わった事や、大谷選手が活躍する明るいニュースから、長期化する、ロシアのウクライナ侵攻・イスラエルパレスチナにおける抗争など、明るいニュース、暗いニュースが有る中で、竜頭蛇尾に終わらせない。画竜点睛を欠くことなくもてる力を存分に発揮して飛躍する一年にしたいと言う、元気を頂ける言葉で締めくくられました。



どの話しも、人に元気と勇気を与える年の初めのお話しに相応しいとても有り難いお話しでした。参加者との交流も楽しめる貴重な機会です。

今後も、ロータリーの活動に参加して、自己成長や社会貢献に繋がる場に、積極的に関わって行きたいと思います。



最後に、例会の運営も非常にスムーズで、司会進行も分かりやすく、時間通りに進んでいた為安心して聴講する事が出来ました。

堺清陵ロータリクラブ 楠本俊彦

【クラブ活動報告】

第4分区 会長、幹事会を開催

4分区(橋本RC、岩出RC、河内長野高野街道RC、粉河RC、高野山RC)の会長、幹事による定例会長、幹事会議を2023年12月26日(火)に開催しました。

会議には、地区代表幹事 久保 忠生 様(和泉RC)、直前分区担当ガバナー補佐森本和洋 様(橋本RC)にもご参加を頂きました。

会議では、各クラブの現状報告、課題共有、今後の分区行事予定、次年度ガバナー補佐に岡本弥生(河内長野高野街道RC)君を指名する件について話し合わせ、5クラブの了承を得ました。

その後、懇親会を兼ねた会食では時間を忘れるほどロータリー談義に花が咲いた。新年が分区の皆様にとって素晴らしい年になるよう祈念して世話クラブ 原 伸行 会長(粉河RC)の締めのご挨拶で惜しみながら閉会しました。



私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、
持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています。

新会員の紹介

	クラブ名	堺ロータリークラブ		クラブ名	堺泉ヶ丘ロータリークラブ
	氏名	みやおく よしえ 宮奥 善恵		氏名	つじお だいすけ 辻尾 大輔
	職業分類	薬局		職業分類	介護保険事業
	生年月日	1956年4月15日		生年月日	1973年1月19日
	入会年月日	2023年12月7日		入会年月日	2024年1月 9日
	クラブ名	松原中ロータリークラブ	<p style="text-align: center;">ロータリーで 自分の可能性を 広げよう</p>		
	氏名	うえにし ひろやす 上西 宏育			
	職業分類	金属加工機械製造			
	生年月日	1964年2月24日			
	入会年月日	2023年12月20日			

奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリークラブへの入会は、職業人や市民リーダーの世界的ネットワークの一員となること。ロータリーの会員は、クラブの枠を超えて海外の会員と交流したり、リソースを寄せあって国際奉仕活動も行っています。

ロータリークラブの魅力は、職業やビジネスで活躍する会員と出会い、いっしょにリーダーシップを発揮しながら、地元のために活動できることです。例会で情報を学んだり、アイデアを持ち寄って奉仕プロジェクトを計画したり、楽しく活動する中で生涯にわたる友情が育まれるでしょう。以下をはじめ、さまざまな方法でクラブに積極的に参加してみましょ。

言 ト 幸 反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

堺北ロータリークラブ



ながとみ ひきのり
永富 久紀 様

2023年12月12日 逝去

在籍期間 堺北RC 5年6ヵ月
美原RC 16年9ヵ月
職業分類 建設業
表彰

マルチプルP.H.F①
第3回米山功労者

田辺ロータリークラブ



いなだ たもん
稲田 太門 様

2023年12月25日 逝去

在籍期間 22年8ヵ月
職業分類 製薬業
表彰

和歌山アゼリアロータリークラブ



やぎ ゆきこ
八木 由貴子 様

2023年11月29日 逝去

在籍期間 11年
職業分類 自動車計器販売修理
表彰

ポールハリスフェロー



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 286

2024年1月15日
発行

2024年1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、石川県、富山県や新潟県に大きな被害が出ています。米山記念奨学会一同、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。現在、第2610地区（石川・富山）および2560地区（新潟）の現役奨学生は無事が確認されております。ロータリー会員の皆さまにおかれましては、もし被災地域に在住している学友がいましたら、連絡をお取りいただきますと本人たちも安心できるかと存じます。何卒よろしく願い申し上げます。

1. ベトナムの子どもたちを笑顔に

第2620地区米山学友会では、国際奉仕活動の一環として教育支援に力を入れており、これまでにスリランカやモンゴルへ継続的な支援を行っています。そして今回、青山チャリット会長（2006-08/静岡日本平RC）の発案で「ベトナム教育支援プロジェクト」が始動。ベトナム出身で同学友会理事のレー チュオン ロクさん（2020-22/甲府南RC）、監事のファム ゴックアンさん（2020-22/浜松南RC）や、ベトナム南米山学友会の会員らと連携し、ベトナムの恵まれない子どもたちへの教育支援を実施しました。

12月9日、現地入りした青山会長をはじめとする同学友会の5人は、ベトナム南学友会理事のリー バオ クォクさん（2015-16/高崎北RC）の紹介で、グエン ビン キエム中学校を訪問。貧困家庭で育つ37人の生徒へ毛布を寄贈しました。ベトナムは暖かい国という印象がありますが、冬は日本の晩秋のような気候になるため、防寒設備が不足している人々にとって毛布は欠かせないそうです。それに加え、経済的な理由で医療サービスを受けるために必要な健康保険



保険証を授与する青山チャリット会長

に加入ができない同校付属小学校低学年の生徒20人に対しては、1年分の健康保険証の取得を支援しました。

翌10日には、家庭や経済的な理由で身寄りのない23人の子どもたちが生活しているダナン路上子ども保護センターを訪問。センター内のセキュリティドア、室内洗濯物干し、台風で壊れた看板などの修理や、プリンター、扇風機、生活用品や子供服などの寄贈を行いました。支援物資を貰った子供たちは、とても喜んでいました。

活動を終えた青山会長は、「子供たちの笑顔を見て、こちらにも幸せな気持ちになりました。保護施設は海外からの支援を基に運営している中、近年は支援が激減しているという話をセンター長から伺い、継続支援の必要性を実感しました。今回のプロジェクトのために力を貸してくれた多くの学友や、募金していただいたロータリー会員の皆さまに改めて感謝申し上げます」と、締めくくりました。



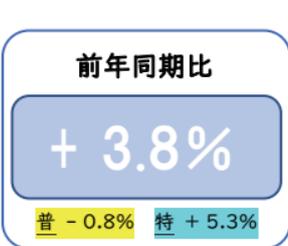
保護センターの子どもたち

2. 英語版リーフレット 改訂版が完成

米山奨学事業を紹介する三つ折り英語版リーフレットの改訂版が完成しました。当会では、豆辞典などの米山奨学事業に関する資料を作成していますが、今回のリーフレットはすべての内容が英語で記載されています。用途に応じて、様々な場面でご活用ください。英語版リーフレットをご希望の方は、当会広報担当まで。



3. 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —



12月までの寄付金は前年同期と比べて3.8%増（普通寄付金:0.8%減、特別寄付金:5.3%増）、約3,400万円の増加となりました。中でも、特別寄付金

は単月寄付額、累計寄付額ともに、2009年度以降で最高額となりました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。1月中旬には「2023年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からご寄付のお願いとなりますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 米山学友が世話クラブの会員に仲間入り！

米山奨学生がロータリー会員になることは大きな喜びですが、かつて世話をした奨学生が自クラブのメンバーとして仲間入りをするのは、この上ない喜びのひとつ。これまでに292人の米山学友がロータリー会員となり、うち少なくとも8人が世話クラブの会員となっています（事務局把握分）。パブロ プーガさん（2006-08/東京広尾RC）のように、今年度クラブ会長を務める人も複数います。

そんな中、カウンセラーと交わした「いつか教授になったら入会します」との約束を果たし、2022年から世話クラブ会員となった^{シュウエンカ}鄒艶華さん（2002-04/西那須野RC）からのメッセージを紹介します。

<鄒艶華さんより>

宇都宮大学工学部教授に昇進してすぐにカウンセラーの関谷直人先生に報告し、翌月には入会手続きをしました。自分が学生時代に支援を受けて研究に専念できたので、今度は留学生を支援する立場に立ちたいと考えています。西那須野RCは自宅や勤務先からは少し離れていますが、奨学生時代から温かく見守っていただき、また最近、会員数が減少傾向であることも聞き、少しでも貢献できればと思い入会しました。



◆ベトナム南米山学友会 創立記念式典のご案内◆

海外10番目の学友会として設立されたベトナム南米山学友会の

創立記念式典が開催されます

2024年3月10日（日）17:00~21:00

THANH THUY レストランにて開催（ホーチミン市内）

問合せ先：vtmthanh.yoneyama@gmail.com

申込期限：1/31（水）※締切間近!!

詳細はQRコードから



第3地域 コーディネーター補佐

杉川 聡 (広島西南RC)

第2710地区は、地区主導の公共イメージ向上等を目的としたイベントの開催実績が過去に無かったため、2021-22年度にローターアクト等のロータリー家族を巻き込み、マツダスタジアム周辺及び球場内で、ポリオ根絶支援及びウクライナ支援募金とロータリーの公共イメージ向上を目的としたロータリー意識調査を実施させて頂きました。



ロータリアン、225名。インターアクト、33名。ローターアクト、13名。米山記念奨学生、3名。JC、22名。ロータリー家族、27名。総勢、323名の参加で開催をさせて頂き、多くのロータリー家族が大きな声で募金の必要性を訴え、多くの市民に賛同いただき、2時間余りの活動で50万円超の募金も集まりました。

意識調査の結果は、

①ロータリークラブについて知っていますか？

- 知っている 256人
- 聞いたことがある 147人
- 知らなかった 323人

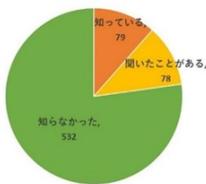


②ポリオについて知っていますか？

- 知っている 424人
- 聞いたことがある 116人
- 知らなかった 207人

③ポリオ根絶活動について知っていますか？

- 知っている 79人
- 聞いたことがある 78人
- 知らなかった 532人



まだまだ、ポリオ根絶活動の必要性、重要性を知らしめる事が出来ないのを痛感した調査結果で地道に繰り返して行くしか無いと言う判断で、5年間は継続して行く事と致しました。それまでに、ポリオ根絶の願いが叶えば良いのですが。

要
て
た。

第3地域 公共イメージコーディネーター

庄司 尚史(境港RC)

NHKのテレビ番組「映像の世紀 バタフライエフェクト」のファンは多いと思います。一羽の蝶の羽ばたきが思いもしない場所で時を経て、大きな変化をもたらすバタフライエフェクトは



興味深いものがあります。

今回ご紹介するのは、私が所属する境港ロータリークラブでの出来事です。2年前からロータリー財団地区補助金プロジェクトとして、地元中学校の「ふるさと教育」の支援を行っています。具体的にはロータリー会員が市内にある3つの中学校の1つに出向き、企業説明や地元への思いを伝える出前授業を行うものです。対象は中学1年生で、10数名程度のチームに別れ、それぞれのチーム毎に一人のロータリアンが担当します。中には企業訪問を取り入れた学校もありました。

学校側の評判は良好で、生徒さんの地元に対する意識に大きな変化が見られたと聞いています。



ここに掲げた写真は、PTA関係者からのSNSです。すぐにクラブ内にシェアされ会員一同ほのぼのとした気持ちで喜びが広がりました。

一人の市民の方がSNSで情報を発信されたことが、ささやかな奉仕活動でありながら、クラブ内はもちろん一般市民の皆さんに伝わり、ロータリーのイメージ向上に寄与しています。

ロータリーの公共イメージは小さな積み重ねが大切なのはいうまでもありません。

何がバタフライエフェクトになるかわからないのですから。

第3地域 R財団地域コーディネーター補佐
駒井 英基 (佐賀南RC)

昨今の財団活動について

皆様方、新年如何お過ごしでしょうか。今年は正月早々能登半島での大きな地震で始まりましたが、被災地の会員の皆様方へお見舞い申し上げるとともに災害の復旧が進みますように、願っております。また、一年を通して世界が平穏な年となりますように祈念しております。



また、このような時こそ、緊急援助に役立つロータリー財団の災害救援補助金の活用なども有効であろうと考えます。我々の財団なので、更なる活用を考えていきたいものです。

実際昨年トルコとシリアを襲った大地震の緊急対応では、災害復旧支援が人道支援に大変有効であったとされています。その後の生活支援には、世界の会員皆様からの更なる支援が行われているのも事実であります。この2段階の支援ができることにロータリー財団の特徴があります。さらに近年は各クラブでも財団資金を身近な奉仕活動に有効活用していただけるよう、補助金事業が推奨されています。また、更なる規模の大きな奉仕活動にはグローバル補助金も随分活用しやすくなりました。これらを皆様方のクラブ活性化に役立てていただければ、幸いです。

尚、これらの活動資金は、世界の会員の皆様からの年次基金や恒久基金、特定用途基金への浄財である寄付金が、原資になっております。寄付を行うことで個人や各クラブ単位だけではなく、奉仕活動に参加できることがロータリー財団の魅力です。昨年度は円安の影響で、大口の寄付は、嬉しいにくい状況でしたが、個々の会員の皆様方からの日本円の寄付総額はお陰様で増えている傾向にあります。これは皆様方の財団への理解が進んできたことの証であり、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、災害救援補助金は、世界中で自然災害が頻発している中、資金源となる災害救援基金が枯渇して申請できないこともあります。被災した地区が速やかに申請できるよう、災害救援基金へのDDF(地区財団活動資金)の寄贈やご寄付をお願いいたします。

今後も、ご理解の上、私達の財団を育ててまいりたいと存じます。

ロータリー災害救援補助金
授与と受諾の条件

ロータリー災害救助補助金は、過去6カ月間に自然災害により被災した地域における救援および復興活動を支援する。補助金の資金は、水や食料、医薬品、衣服といった基本品目の提供のために使用することが認められます。

補助金の申請をお考えの方は、以下のステップをご覧ください。申請できるのは、ロータリークラブまたは、ローターアクトクラブの会員となります。

- 地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組む小規模で短期間の活動に資金を提供します。
- グローバル補助金は、ロータリーの重点分野において持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支えます。
- 災害救援補助金は、自然災害の被災地における救援・復興活動を支援します。
- 大規模プログラム補助金は、他団体とのパートナーシップの下に、ロータリー会員が主導する国際的活動に資金を提供します。この目的は、より多くの場所でより多くの人たちに恩恵をもたらす、未永く続く変化を助長していくために、重点分野においてすでに実績のあるプログラムモデルを拡大していくことです。

地区は、被災地域のニーズを特定し、そのニーズに最大限に応えるために補助金をどのように活用するかを決定する責任を負う。地区は、財団から受領した資金を配分する権限を有し、災害救助プロジェクトまたは復旧プロジェクトに支出した資金の用途を報告する必要があります。

2022-23年度補助金の概要			
473 地区補助金の数	324 災害救援補助金の数	1,092 グローバル補助金の数	1 大規模プログラム補助金の数
\$26m 授与総額 (単位: 百万)	\$15m 授与総額 (単位: 百万)	\$55m 授与総額 (単位: 百万)	\$2m 授与総額 (単位: 百万)

ロータリー会員は被災地域の
救援と長期的復興を支援しています。

第2640地区 会員数報告(2023年12月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	23.7.1	内女性	23.12月末	内女性	12月	内女性	累計	12月	内女性	累計		23.7.1	内女性	23.12月末	内女性	12月	内女性	累計	12月	内女性	累計
串本	5	1	4	1	0	0	0	1	0	1	松原	11	0	8	0	0	0	3	0	3	
那智勝浦	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	松原中	23	3	23	3	1	0	1	1	0	1
新宮	45	2	47	2	0	0	3	1	0	1	美原	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	5	0	4	0	0	0	0	0	0	1
田辺	86	4	86	4	0	0	1	1	0	1	太子	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1
田辺東	36	3	34	2	0	0	1	1	0	3	富田林	32	0	32	0	0	0	0	0	0	0
田辺はまゆう	28	6	29	6	0	0	3	0	0	2	泉佐野	25	0	26	0	0	0	1	0	0	0
有田	24	1	25	1	0	0	1	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	22	1	22	1	0	0	0	0	0	0	貝塚コスモス	12	3	12	3	0	0	1	0	0	1
有田2000	13	0	12	0	0	0	0	0	0	1	関西国際空港	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
御坊	36	3	36	2	0	0	1	0	0	1	岸和田	31	1	31	1	0	0	0	0	0	0
御坊東	13	0	12	0	0	0	0	1	0	1	岸和田東	39	7	41	8	0	0	3	1	0	1
御坊南	15	6	14	5	0	0	0	1	1	1	岸和田南	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
海南	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATOR向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	39	5	0	0	0	1	0	1	りんくう泉佐野	15	3	15	3	0	0	0	0	0	0
海南西	15	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
和歌山	76	1	81	2	0	0	6	0	0	1	和泉	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
和歌山アゼリア	29	11	27	9	0	0	0	2	2	2	泉大津	41	3	44	4	0	0	3	0	0	0
和歌山東	50	0	50	0	0	0	1	1	0	1	和泉南	59	2	60	2	0	0	1	0	0	0
和歌山城南	37	2	38	2	0	0	1	0	0	0	大阪金剛	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	17	0	18	0	0	0	1	0	0	0	高石	25	1	25	1	0	0	0	0	0	0
和歌山北	28	1	30	2	0	0	2	0	0	0	高師浜	10	1	10	2	0	0	1	0	0	1
和歌山南	70	6	72	7	0	0	4	2	0	2	堺	40	3	42	4	1	1	4	1	0	2
和歌山東南	36	5	39	5	0	0	3	0	0	0	堺東	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	21	3	0	0	0	0	0	2
橋本	45	0	43	0	0	0	1	3	0	3	堺中	15	3	17	3	0	0	2	0	0	0
岩出	23	1	23	1	0	0	0	0	0	0	堺北	29	1	26	1	0	0	1	3	0	3
河内長野高野街道	18	5	17	5	0	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	24	3	23	3	0	0	0	1	0	1
粉河	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
高野山	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	堺清陵	19	4	21	4	0	0	2	0	0	0
羽曳野	9	0	10	0	0	0	2	0	0	1											
河内長野	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪ロータリーモクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0
河内長野東	22	2	22	2	0	0	0	0	0	0	計	1,548	128	1,557	130	2	1	53	25	3	41



クラブ数	2023年7月1日 会員数		2023年12月末 会員数		12月入会		12月退会		増減											
64	男性	1,420	女性	128	男性	1,427	女性	130	男性	1	女性	1	男性	22	女性	3	男性	-21	女性	-2
	1,548		1,557		2		25		-23											

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを!

会員増強はクラブの最優先事項です!

2023-2024 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2024年1月29日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2024年1月29日	1,558	764	49.04%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	4	1	25.0%
那智勝浦	9	2	22.2%
新宮	47	14	29.8%
白浜	10	6	60.0%
田辺	86	51	59.3%
田辺東	34	14	41.2%
田辺はまゆう	31	9	29.0%
分区計	221	97	38.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
和歌山	81	62	76.5%
和歌山アゼリア	27	6	22.2%
和歌山東	51	42	82.4%
和歌山城南	38	10	26.3%
和歌山中	18	5	27.8%
和歌山北	30	16	53.3%
和歌山南	72	50	69.4%
和歌山東南	39	10	25.6%
和歌山西	10	2	20.0%
分区計	366	203	44.8%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	22	22	100%
河内長野東	22	6	27.3%
松原	8	6	75.0%
松原中	23	8	34.8%
美原	7	0	0.0%
大阪狭山	4	4	100%
太子	15	11	73.3%
富田林	31	19	61.3%
分区計	142	78	54.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	16	10	62.5%
和泉	20	6	30.0%
泉大津	44	21	47.7%
和泉南	61	16	26.2%
大阪金剛	12	11	91.7%
高石	25	10	40.0%
高師浜	10	8	80.0%
分区計	188	82	54.0%

100% 達成クラブ
 貝塚ロータリークラブ
 河内長野ロータリークラブ
 大阪狭山ロータリークラブ

2023-2024年度
 登録率目標
88%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	25	12	48.0%
有田南	22	3	13.6%
有田2000	12	9	75.0%
御坊	36	13	36.1%
御坊東	13	7	53.8%
御坊南	15	5	33.3%
海南	8	5	62.5%
海南東	39	36	92.3%
海南西	15	1	6.7%
分区計	185	91	46.8%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	44	4	9.1%
岩出	23	6	26.1%
河内長野高野街道	17	10	58.8%
粉河	14	9	64.3%
高野山	14	8	57.1%
分区計	112	37	43.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
泉佐野	26	10	38.5%
貝塚	14	14	100%
貝塚コスモス	12	8	66.7%
関西国際空港	16	4	25.0%
岸和田	31	8	25.8%
岸和田東	41	23	56.1%
岸和田南	6	1	16.7%
KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
りんくう泉佐野	15	7	46.7%
分区計	169	79	47.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	42	15	35.7%
堺東	16	14	87.5%
堺泉ヶ丘	22	13	59.1%
堺中	17	5	29.4%
堺北	28	10	35.7%
堺おおいずみ	23	20	87.0%
堺フェニックス	6	2	33.3%
堺清陵	21	18	85.7%
分区計	175	97	56.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリー-エクラブ	7	6	85.7%

目標達成 5クラブ

2月の行事予定表

日付	行 事	場 所
3 (土)	ローターアクト地区連絡協議会	南海浪切ホール
4 (日)	御坊RC創立70周年記念例会	花ご坊
	貝塚RC創立60周年記念式典・祝賀会	スターゲイトホテル関西エアポート
10 (土)	ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	次年度ガバナー補佐・幹事予定者会議(予定)	けやきONE401
11 (日)	24-25年度地区チーム研修セミナー	ホテルグランヴィア和歌山
18 (日)	IAC国内研修報告会	上宮太子高等学校
	クラブ青少年交換委員長会議	JA和歌山
	第4回派遣候補生・受入学生オリエンテーション	JA和歌山
	FT研修	けやきONE401
23 (金)	和歌山東RC創立65周年記念式典	ホテルグランヴィア和歌山
25 (日)	ローターアクト地区献血	イオンモール堺北花田、エコール和泉、いこらも〜る泉佐野、ロマンシティ御坊



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に役立ててもらうため、情報収集と紙面の充実に努めています。

皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける**活動情報**は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送信ください。また、毎号の**表紙写真**も併せてご提供ください。

ROTARY ROTARY

国際ロータリー
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660

e-mail : tani@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

